HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	持続可能な自律的観光における中間システムとマネジメントについての分析
Author(s)	敷田, 麻実
Relation	第23回日本観光研究学会全国大会. 平成20年11月22日～平成20年11月23日. 上田市
Issue Date	2008-11-23
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35504
Type	conference presentation
File Information	shikida.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

2008年度　日本観光研究学会　長野大会　口頭発表

持続可能な自律的観光における中間システムとマネジメントについての分析

北海道大学観光学高等研究センター 敷田麻実

Copyright © 2008 SHIKIDA and MORISHIGE. All rights reserved.

研究の目的

観光にかかわる
地域の主体とその働きの考察

具体例として・・・・・

NPO法人霧多布湿原トラストを事例に
関係性モデルを適用して

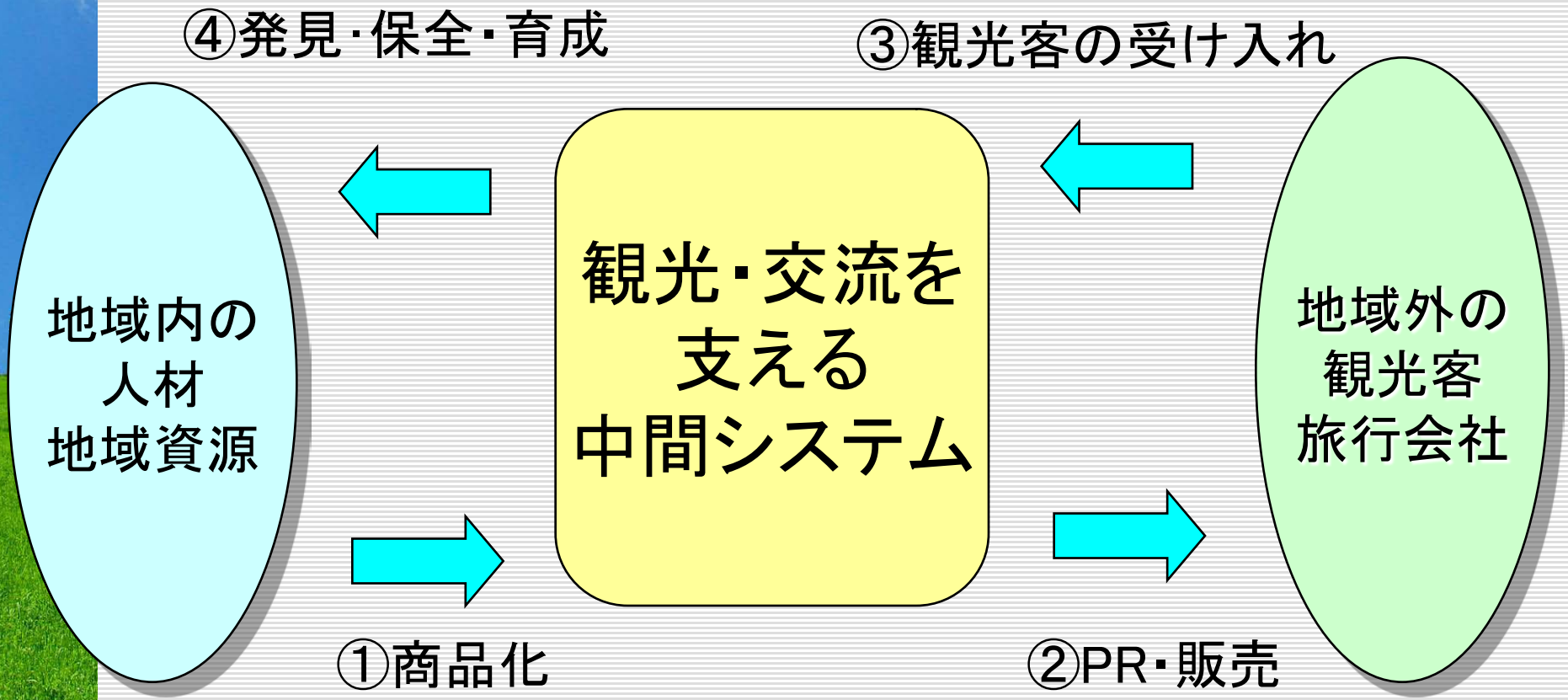
主体とその働きについて考察

研究の背景

求められる2つの課題の解決

- 自律的観光への転換
  - 地域が主導する観光？
  - 試みは始まったが、まだ手探り
- 持続可能な観光の実現要求
  - 具体的な状態や姿が見えない

基本となる観光の関係性モデル



モデルの検討

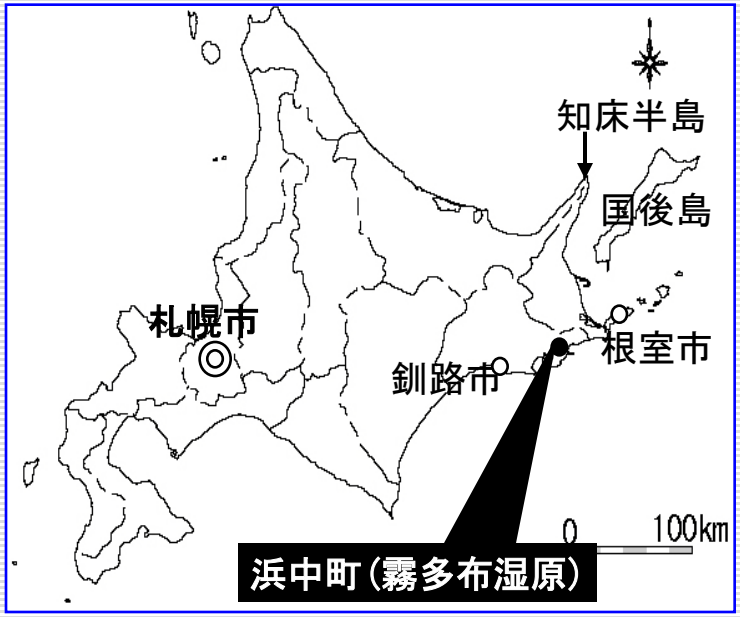
・関係性モデルで実際の観光を説明できるのか

・モデルから得られる示唆は何か

事例の北海道浜中町とは・・・・

・人口約6,800人で漁業と農業が中心
・漁業生産額約43億円(2006)、コンブ漁が中心
・第1次産業就業者が52%
・観光客数34万人/年
・霧多布湿原が町の7.4%

・ラムサール条約登録湿地
・北海道遺産

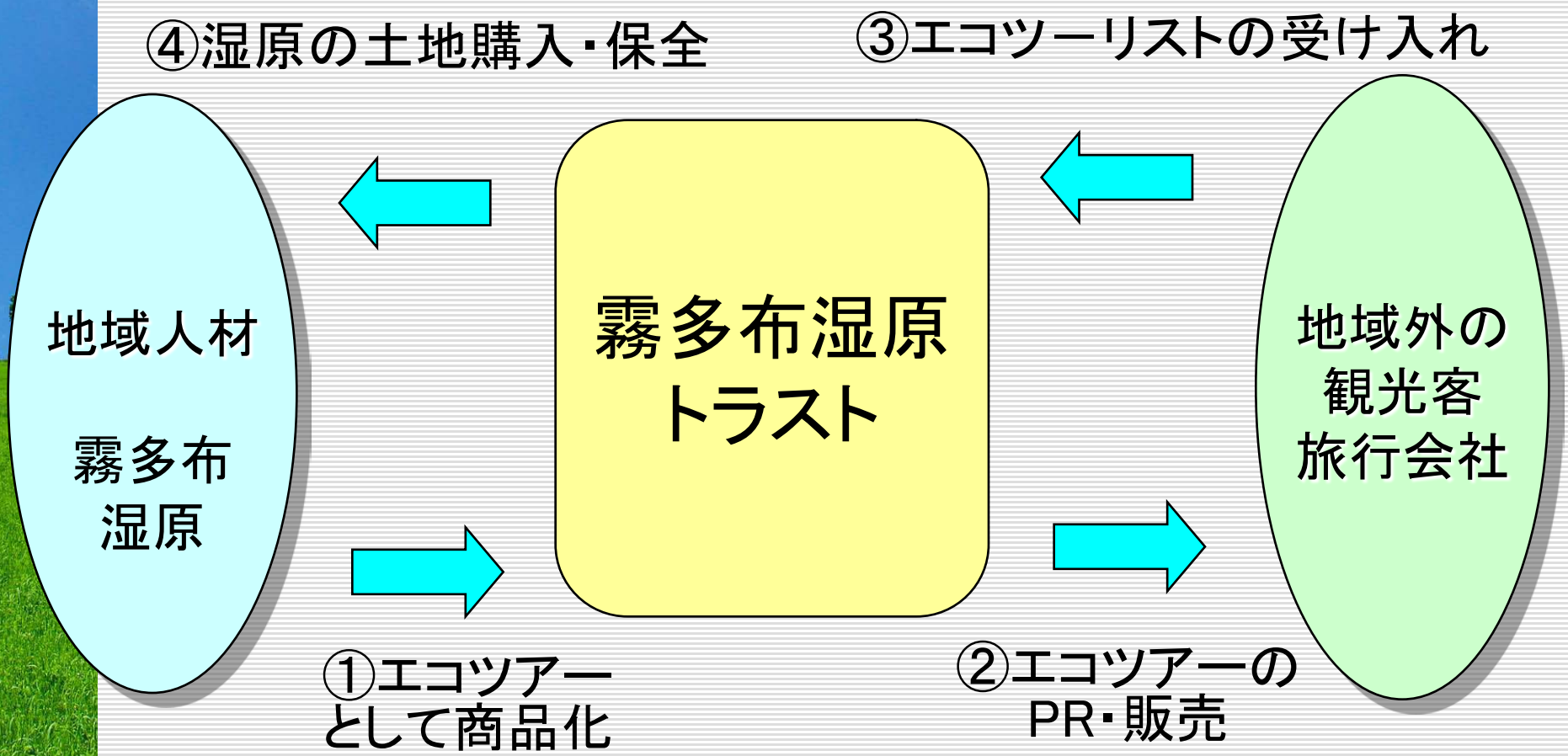


霧多布湿原と
湿原トラスト

湿原保全の本拠地　湿原センター

エコツアー

霧多布湿原トラストへの適用



霧多布湿原トラストへの適用

④湿原の土地購入・保全

③エコツーリストの受け入れ

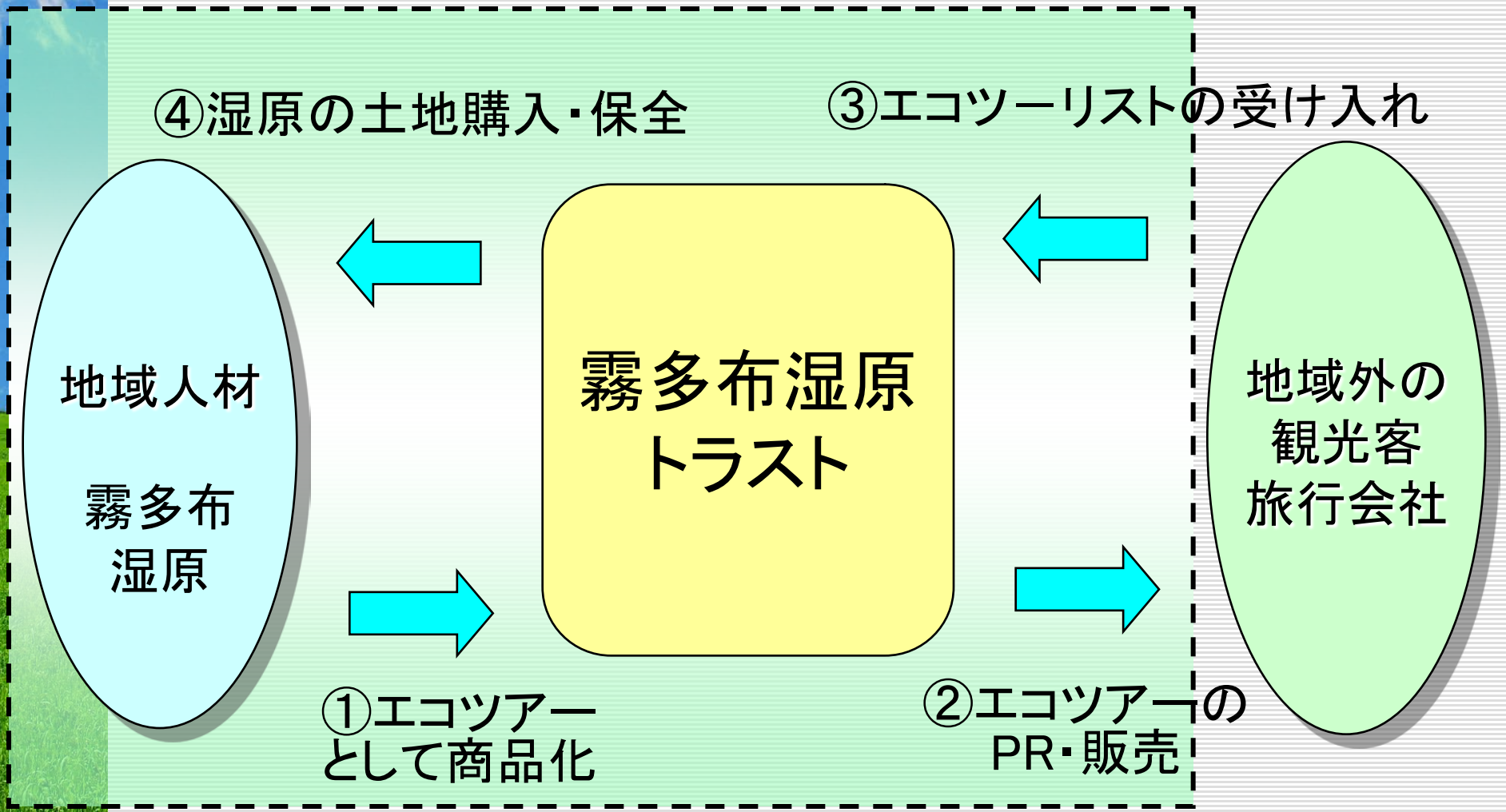
地域人材

霧多布
湿原

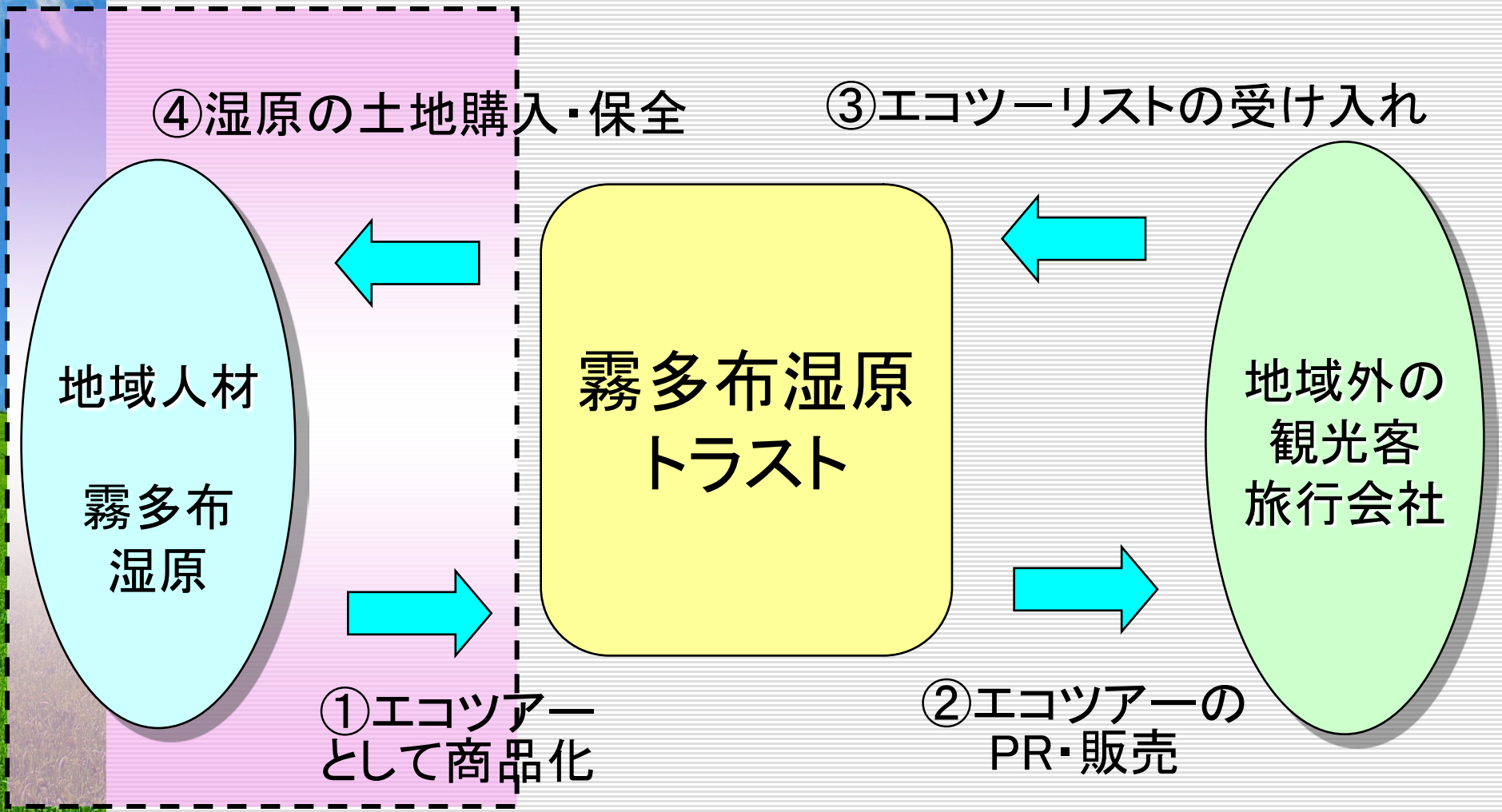
霧

①エコツアーとして商品化

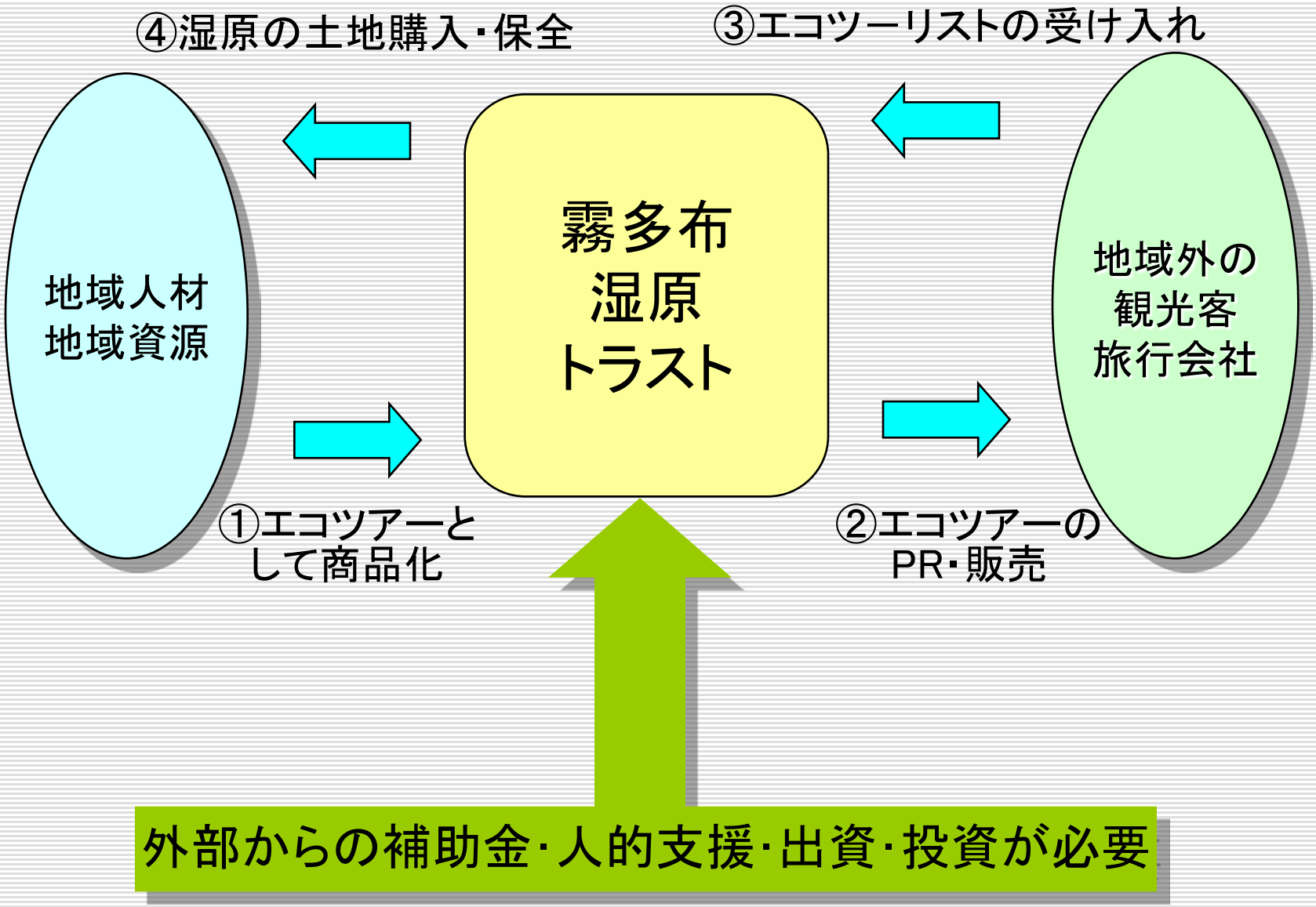
自律的観光のマネジメントエリア



マネジメントエリアの縮小



湿原トラストの持続可能な観光の課題



湿原トラストの持続可能な観光の課題

④湿原の土地購入・保全

③エコツーリストの受け入れ

地域人材
地域資源

霧多布
湿原
トラスト

地域外の
観光客
旅行会社

①エコツアーとして商品化

外部からの補助金・人的支援・出資・投資が必要

研究から得られる示唆

- 湿原トラストのエコツーリズムは関係性モデルで説明可能
  - 湿原トラストは、地域資源(湿原)をエコツアーで利用しながら、得られた利益を湿原の購入･保全に再投資
- 持続可能な観光のためには、中間システムを地域側で管理
- 自律的観光は、地域内外アクターの関係性のマネジメント
  - 「観光地域ガバナンス」の視点
  - **資源ーかかわる人ー外部者**の関係性

ありがとうございました

北海道大学　観光学高等研究センター　敷田麻実

ホームページ：　http://www.cats.hokudai.ac.jp/~shikida/
「敷田」で検索すると出てきます
メール：　shikida@cats.hokudai.ac.jp